

研修会参加者数　43名　アンケート回答者　28名　回収率　65％

**Q３.今日の研修会に参加され、、多職種連携について気付かれたことや、考えが変わったことはどのようなことですか？**

・連携で何がスムーズに出来ないのか？

・介護度に対する考え方、医療と介護の現場でのとらえ方が違う。

・顔を合わせることが連携をスムーズにしていくことにつながると思いました。

・みんな色々がんばっているということ。

・薬局の方が全くZ連携や情報共有所のことを知らないといわれていた。退院時、元の医療機関に戻った時、薬の内容に変更がある事が多く、情報が欲しいとのこと。したがって薬局薬剤師さんにも意識して、情報共有をしなくてはいけないと思った。

・今後は認知症用シートの活用について、各医療機関で統一できればとても良いことと考えます。

・今後も積極的に連携を図り、関係づくりを深めていく。

・医療の方の考えがわかってよかった。

・新見市内の連携意識が向上していることを実感できました。

・医師の参加は意義が高い。どんどん来てほしい。

・連携をとるためにお互いに顔の見える関係づくりが必要。皆で心がけることが必要。

・多職種連携の顔の見える関係はとても大切であり、もっともっと多職種のバリアフリーをしていかないといけないなぁということ。

・顔の見える関係ができた。SNSの活用が行うことを検討出来た。

・多職種連携の必要性はわかっていても、難しいと感じることも少なからずあるのだなと思いました。

・情報共有書は有用な情報が詰まっていて、情報収集のためだけでなく、自ら情報を追加することが大事であること。

・グループワークでいろいろ話が出来てよかった。

・薬局では連携への取り組みが不足していると感じていましたが、医療・介護れんらく帳やお薬手帳などを活用して、少しずつ参加したいと思いました。

・情報共有書を書く癖をつけていかなければならないのだと感じた。

・グループ内に初めて一緒になる方がいると、違う考え方や違う意見を知ることが出来るので良かった。

**Q４．あなたが多職種連携で気を付けたり、意識をしていることがあれば教えてください。**

・多職種との日頃からの信頼関係。

・いろいろな職種の方の立場、状況をより理解できるようにしています。

・多職種の情報共有をしていくこと。

・まず連絡をして行う。

・利用者さんの身体状況や家庭環境の変化等少しでも気になることが出来たら、事業所に報告するようにしている。

・できるだけ丁寧な言葉で話をするようにしている。

・入院時の連携において、早速に送りたいと思う。

・話しやすい雰囲気を作るようにしている。

・受け取る側が必要だと思う情報、気を付けてほしい情報を出すようにしている。

・先方に失礼のないように、また、先方が治療やケアなどの実務で困らないように意識しています。

・他職種は考え方や価値観は違うもの、よく話を聞いて、相手の立場に立って考えたい。

・相手の立場を尊重する。

・患者が入院されたら、ケアマネジャーに電話連絡する。

・必要な情報をきちんと聞く。出来れば病院へ出向く。

・職種によって関わりの仕方や持っている情報、出来るアプローチの方法も違ってくるので、「誰と一緒にこの人の支援が出来たらいいだろう。」と考えて声をかけさせていただくことはあります。

・出来るだけ、これは必要かな？と思うことは、項目になくても記入するようにしている。

・少ない回数で多くの必要な情報がやり取りできるよう、相手に合わせて伝える内容を調整している。

・変化があればケアマネへ電話し、主治医へ報告。

・各研修会へ参加し、顔の見える関係づくりを意識している。

・毎回、各先生方、施設の方等の講義は大変参考になります。自分の間違いを改めるいい機会と思い毎回参加させていただいています。

**Q５．新見地域で今後、多職種連携を進めていく上で、こうしたらいいというご意見がありましたらお教え下さい。**

・連携のツールの広報をもっと出来たら良いのではないか？

・お互いの職種の理解を深める。

・もっと誰でも簡単に使えるツールの検討。

・こういった研修会を継続してほしいです。もっと医師をはじめ、医療の方にも参加してほしいです。

・地道にやっていくことに成果が出てくるのではないでしょうか？

・いろいろな事業所にもっと参加してもらう。

・薬剤師さんも担当者会議に出れるようにしてほしい。

・ご本人、ご家族の思いの共有が出来たらいいです。

・他の職務に対し、理解を深めていくことが何より重要ではないかと思います。

・顔の見える関係づくりの継続を、まんさくさんの取り組みをつづける。

・こういった会議に出席が少ない、出たことがない事業所、人がもっと出てきやすい環境が出来たらよいと思った。

・研修会等でお互い知り合いになり、普段の連携に活かしていく。

・このような連携会議で他の職種の方の意見を聞くことが、とても参考になります。いろいろな意見を聞くことで改善策を見つけやすい。

・ケアキャビネットでも上手くいくといいと思います。

・今まで通り継続していくこと。

・医療・介護れんらく帳をもっと活用する。利用者さんへ出かける時にはかならず持つようにすすめる。

**Q６．講義の内容や、会議の企画・運営に対するご意見（グループワークの方法など）があればご自由にお書き下さい。**

・他職種の方と話が出来てよかったです。

・人数は今日のように5～6人くらいがディスカッションしやすく、発言の機会がもらえやすい。

※同じ内容のご意見はまとめて掲載させて頂きました